

平成30年度  
公益財団法人山口市文化振興財団  
事業計画

平成30年3月

## I 基本目標

山口市から管理運営の指定を受ける山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて各施設の持つ特性を生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施し、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努める。

## II 基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる文化環境づくりを目指し、鑑賞、参加型及び創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し提供する。また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進、支援するための事業を行う。

なお、これらの事業を実施するにあたって、単年度計画に基づく事業計画の策定及び事業の実施という形態のみでなく、長期的視点からの事業計画や新たな発想による事業展開をめざすとともに、これに基づく具体事業の年次的実施による事業内容の充実に向けた取り組みを推進する。

## III 個別事業計画

定款第4条に掲げる6事業のうち、企画事業、育成・支援事業、調査研究事業、情報収集・提供及び施設の管理運営受託事業については、以下のとおりとする。

### 1 企画事業

当財団が所管する山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会などの拡充を図るとともに、事務局においては、幅広い市民の皆様が楽しめる娯楽性の高い事業の企画展開を図る。

#### (1) 事務局

山口市市民会館、山口情報芸術センター等、市内の文化施設を活用し、広域的かつ幅広い年齢層を対象にしたポピュラー音楽などのコンサート、舞台芸術などの公演を実施する。

#### (2) 山口市市民会館

オーケストラや演劇公演など質の高い鑑賞機会の拡充、また伝統芸能の理解を深めていただく公演の開催を目指すとともに、市民参加型のコンサートの開催など市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を提供する。

### (3) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物を紹介するテーマ展示や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や学芸担当職員による読書会を開催する。また、中也が好んだ〈朗読〉をテーマにした市民参加型イベント〈生誕祭〉を実施する。

### (4) 山口情報芸術センター[YCAM]

YCAM は、メディアと芸術の融合をコンセプトに先端的な芸術表現に取り組むアートセンターとしての独自性を維持しつつ、文化施設の役割である「文化の振興」を担うべき市民との関わりを意識した事業展開を進める。

特に本年は、開館 15 周年記念事業として、YCAM の多様な活動の具体的な内容や魅力などを世界と地域に向けて発信する。

#### ○ 「YCAM でなければ生み出せないオリジナル作品の制作」

メディア・テクノロジーを応用したオリジナルの作品を制作・発表することを重視することで、これまでも国際的に高い評価を得てきた。“新しい価値の創造”が市民から関心と理解を得られるよう、分かりやすさの工夫と、身近で社会性のある題材をテーマに取り組む。

#### ○ 「メディア・テクノロジーと市民をつなぐ教育プログラムの提供」

芸術分野に留まらず、メディアを取り巻く様々な環境を包括した「学び」を広く提供するため、運営体制や人材育成を市民レベルに広げ、教育ワークショップを始めとする様々な事業を施設内外で展開していく。

#### ○ 「地域の課題や資源とメディア・テクノロジーの融合」

さまざまなかたちで蓄積したメディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、山口の地域課題や資源に結びつける取り組みを重視していくとともに、市民のものづくり活動を積極的に支援していく。

## 2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努める。

また、市民が日常的に文化に触れ、あるいは文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施する。

### (1) 友の会の拡充と運営

公益財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図る。

① 会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

② 会員種別

種 別	対象者	入会金(更新時には不要)	年会費
個人会員	個人	500円	1,500円

③ 会員特典

- ・チケットの先行予約及び割引購入
- ・情報誌(4・7・10・1月発行)及び催物案内(毎月末)の定期送付
- ・入会時及び更新時にYCAMシネマ及び中原中也記念館の招待券進呈
- ・協賛店での優待あり

④ 会員数の推移(件数)

種 別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
個人会員	973	965	856	944	935	905

(2) 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業に助成支援するため、平成9年度に創設した「公益財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施する。

また、市報への掲載等による広報を行い、より多くの市民の自主的かつ創造的な芸術文化活動を支援する。

① 募集期間

平成30年3月1日～3月31日

② 助成金額

一事業につき50万円を上限

③ 審査方法

審査委員会の設置、開催

④ 申請及び採択件数の推移 ( )内は中也における文化振興事業数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
申請件数	27	16	26(3)	18	12	17
採択件数	25	16	21(3)	17	11	17

### 3 調査研究事業

#### (1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、修復、複製の製作等により、中原中也研究を推進する。

#### (2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演ごとのアンケート調査を随時行い、事業企画に対する市民ニーズ等の調査研究を進める。事業成果のまとめとしてドキュメント制作、展示・公演記録や、ワークショップパッケージ等のパブリシティに関わる作業を行う。

### 4 情報収集・提供事業

#### (1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行する。

#### (2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行する。

#### (3) 中原中也記念館 館報第24号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行する。

#### (4) 機関紙「中原中也研究」第23号の刊行

研究論文、エッセイ、シンポジウム記録等を掲載する機関誌を年1回、継続刊行する。

#### (5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行する。

#### (6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信する。また、平成19年4月からは財団の主催・共催公演に関して、財団及び山口情報芸術センターのホームページからもチケット予約ができるシステムを整備、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっている。

### 5 施設の管理運営受託事業

当財団が所管する山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターの管理運営において、「安全、安心、快適」に利用していただけるよう適切な業務を行う。

また、山口市民会館、山口情報芸術センターにおいては、市条例に基づいた施設の貸与事業を行い、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努める。

## 6 企画事業一覧

区分	事業名	開催時期	内容
財 団 事 務 局	第 23 回中原中也賞贈 呈式・記念講演	4 月 29 日(日・祝) 湯田温泉ユウベルホテ ル松政	新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に対し 中原中也賞を贈り、詩を通じて豊かな芸術文化 意識の向上を図ります。23 回目となる今回は、公 募・推薦の詩集 174 冊の中からマーサ・ナカムラ さんの詩集『狸の匣』(思潮社)が選ばれ、贈呈式 を開催。贈呈式後には、講師をお招きし、記念講 演を開催します。
	ストラディヴァリウス・ サミット・コンサート 2018	6 月 2 日(土) 山口市民会館	幻の名器と呼ばれ 1 台でも数億円の価値をもつ といわれるストラディヴァリウスが 11 台も集結す る夢のコンサートを、島根県いわみ芸術劇場との 連携プロジェクトとして行います。山口公演として は、2013 年、2015 年に引き続き 3 度目の開催。 11 台の名器を奏でるのは、世界最高峰のオーケ ストラ“ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団”のト ップメンバーたち。世界最高の楽器×最高の名 手たちの競演が作り出す、贅沢な時間を楽しんで いただきます。
	『不思議の国のアリス』	8 月 8 日(水)・9 日(木) 山口情報芸術センター	ルイス・キャロルが世に送り出し、いまなお世界 中で愛される物語「不思議の国のアリス」を、ダン サーであり振付家である森山開次が演出し、親 子で楽しめるダンス作品に仕上げました。劇団ロ ロ(読み:ろろ)を主宰し、20 代ながら演劇界・映 像界から熱い注目を集める若手作家、三浦直之 がテキストを手掛け、衣裳には日本を代表するコ スチューム・アーティスト、ひびのこづえ、音楽に は日本アカデミー賞音楽賞を受賞、多岐に活躍 する作曲家の松本淳一が参加するなど、各ジャン ルのスペシャリストが集結し生み出された、いま までにはない「アリス」の世界が味わえます。 関連企画として、6 月に森山開次によるダンスワ ークショップを実施します。

区分	事業名	開催時期	内容
財団事務局	地点『忘れる日本人』	平成 31 年 2 月 16 日 (土)・17 日(日) 山口情報芸術センター	京都を拠点に活動する三浦基が率いる劇団「地点(ちてん)」による初の山口公演。民俗学者・宮本常一の著書『忘れられた日本人』と、モーリス・ブランショの小説『期待 忘却』をモチーフに、いま最も注目を集める劇作家・松原俊太郎が戯曲を手掛け、三浦基が彼ならではの大胆な演出によって作り出した作品で、昨年 KAAT での初演が大きな話題を集めました。舞台作品をいまだ観たことのない層を、あるいは YCAM にまだ足を踏み込んだことのない層を引き込む機会とします。
山口市民会館	特撰 落語競演会 三遊亭円楽・三遊亭小遊三	4 月 29 日(日) 14:00 開演	人気テレビ番組「笑点」でおなじみの三遊亭円楽・三遊亭小遊三による落語会です。
	ベルリン交響楽団 山口公演	6 月 30 日(土) 17:00 開演	ドイツの名門オーケストラ「ベルリン交響楽団」による演奏会です。
	シネマ・ミュージック・コンサート (仮称)	8 月 24 日(金) 18:30 開演予定	ローマ・イタリア管弦楽団による、映画音楽の演奏会です。
	山中千尋ニューヨーク・トリオ 全国ホールツアー2018～クラシック in JAZZ～	11 月 12 日(月) 19:00 開演予定	世界的ジャズ・ピアニストの山中千尋が、誰もが知るクラシックの名曲をジャズ風アレンジして、ニューヨーク最高峰のプレイヤーと競演します。
	山口きずな音楽祭 Vol.10 (仮称)	12 月 25 日(火) 開演時間未定	サビエルと当主大内義隆のきずなで生まれた、山口クリスマスの歴史を、音楽を通じて次世代に伝えることを目的としたコンサートです。
	第 23 回ニューイヤーバンドフェスティバル 2019	平成 31 年 1 月 19 日 (土) 10:00 開演予定	山口県吹奏楽連盟加盟団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術ならびに音楽表現力の向上を深め、あわせて各団体の親睦を図るためのコンサートです。

区分	事業名	開催時期	内容
山 口 市 民 会 館	第 46 回市民コンサート	平成 31 年 3 月 21 日 (木・祝) 13:00 開演予定	年度内に開催された各種コンサートにおいて優れた成績を収めた方々や、平素から熱心に音楽活動を行っている方々を招いての“アンコールコンサート”です。
中 原 中 也 記 念 館	第 15 回テーマ展示 「中原中也の散歩生活」	2月15日(木)～平成 31年2月17日(日) ※特別企画展会期中を除く	<p>中原中也は、昼に起床し、深夜まで街中を歩き続け、帰宅したのち本を読んだり詩を書いたりする生活を送っていました。部屋にこもるのではなく、街をあてもなく歩きまわり、歩きながら世界を肌で感じ、そこから作品を生みだしていったのです。その身体性は詩に生き生きとした躍動感を与え、歩くことをテーマにした魅力的な作品へと結実していきました。その背景には、中也が好んだフランスの詩人・ランボオの作品の影響があるとされています。</p> <p>本展では、中也が歩いた当時の街並みなども紹介しながら「歩く」という行為と詩作の関係に迫ります。</p> <p>※第 16 回テーマ展示「四季の詩」(仮) 平成 31 年 2 月 20 日(木)～平成 32 年 2 月下旬</p>
	特別企画展 「大岡昇平と中原中也」	8 月 2 日(木)～9 月 24 日(月・祝)	多岐にわたる文学活動により、戦後文学を牽引した作家・大岡昇平。大岡は 19 歳で中原中也と出会い、以後中也が没するまで交友関係を結びました。中也没後は中也についての文章を数多く発表。4 度にわたり刊行された『中原中也全集』全ての編集に名を連ね、中也の詩業の紹介に努めました。本展では、県立神奈川近代文学館所蔵の大岡昇平資料を中心に、大岡と中也の交友と、戦後の大岡の文学活動における中也の位置などについて紹介します。



区分	事業名	開催時期	内容
中原中也記念館	企画展Ⅰ 「中也、この一篇 — —「帰郷」」	4月18日(水)～7月 29日(日)	<p>中也の代表作をじっくりと味わう企画展シリーズ、第2回目は「帰郷」を紹介します。</p> <p>この作品は昭和2年末から翌年初め、東京で生活していた中也が、山口へたびたび帰省していた頃にかかれたといわれています。離れてから身を置く故里(ふるさと)は懐かしいばかりではなく、疎外感を抱く場所でもありました。その複雑な思いを、中はこの詩のなかでどのように表現したのでしょうか。</p> <p>本展では、中也を育んだ山口の風土や、フランス文学からの影響、音楽との関わりなど、さまざまな角度から作品を読み解きます。</p>
	企画展Ⅱ 「文士の肖像——林 忠彦写真展」	9月27日(木)～平成 31年4月14日(日)	<p>山口県周南市出身の写真家・林忠彦の生誕100年を記念し、周南市美術博物館協力のもと、林忠彦の写真展を開催します。</p> <p>同じ山口県出身でありながら、中也と出会うことはなかった林ですが、小林秀雄、太宰治、坂口安吾ら中也と交友のあった文学者の肖像写真を撮影しています。それらは、『日本の作家』『文士の時代』といった写真集に収められ、林の代表作となりました。写真家がとらえた文士の姿は、いったいどのようなものだったのでしょうか。</p> <p>本展では、中也と同時代の文学者の業績を紹介しながら、林の写真の魅力に迫ります。</p>
	屋外展示	前期 5～10月 後期 11～4月	中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を敷きつめている中庭では、今年のテーマ「花」にちなんだ中也の詩を紹介します。
	公開講演	第1回 9月15日 (土)	9月は「中原中也の会」との共催により講演会を行います。(講師:島田雅彦氏を予定)

区分	事業名	開催時期	内容
中原中也記念館	中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として実施。テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます(無料)。
	中原中也生誕祭「空の下朗読会」	4月29日(日・祝)	中也の生誕日に前庭で開催。詩の朗読を好んだ中也にならない、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会と、VOICE SPACEの mini Live を行います(無料)。
	中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ	10月下旬	中也の命日10月22日前後にあたる週末に、中也が眠る「中原家累代之墓」にお参りし、夕方からは朗読やミニコンサートなどを行い、中也を追悼します(無料)。
山口情報芸術センター	国際ラボミーティング(仮称)セカイラボ会議の開催	10月6日(土)～8日(月・祝)	<p>開館15周年記念事業として、アート、メディア、地域活性、教育、バイオ、人工知能など、さまざまな分野で国際的に突出した活動を行うキーパーソンを招聘し、対話を通して社会においてアートセンターが果たす役割や、未来の学びや表現のあり方を探り、国内外の視点から検証を行います。多様な評価を織りませながら、多くの人を引きつける吸引力に発展させていく事業を展開していきます。</p> <p>事業内容 YCAMの活動の具体的な内容や魅力を、多様な関係者を招いたカンファレンスを軸に、展示、ライブイベント、ワークショップなどのイベントを複合させることで発信します。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	コロガル公園 2018	7月21日(土)～10月28日(日)	<p>メディア時代の新しい学びの場の提案「コロガル公園」シリーズは、メディアアートセンターならではの発想で、子ども自身が遊びを通じて考え、創造するための環境としてデザインされた公園です。会場内には、複数の異なるアクティビティを生み出すブロック型の遊具を設置し、身体的な装置と埋め込まれたスピーカー、マイク、LED、照明などの装置で、全感覚を呼び覚まし遊びを創造することができます。</p> <p>また、利用者の声を実際に反映する仕組みとして会期中に「子どもあそびばミーティング」を実施します。採用されたアイデアは公園の新しい機能として追加されます。</p> <p>このように、人々が集い、創造的な遊びを発明したり試したりする中で、メディア・リテラシーや創作センスの向上を通じて、創造的なコミュニティの創出を目指します。</p>
	アート展示： YCAM × ゲストキュレータープロジェクト (仮)	7月21日(土)～10月28日(日)	<p>アート事業の展覧会のキュレーションをゲストキュレーター(※1)であるエキソニモと共同で行います。</p> <p>「メディアアートの輪廻転生」というテーマのもと、メディアアート作品の新しいエコシステムを提示することによって、いかに文化を未来に継承し、次なる創造につなげていくかについて考える機会を創出します。</p> <p>さらに、同時期開催予定の「コロガル公園2018」とのコラボレーションや、鑑賞教育の分野との連携により、今までの展覧会では取り込むことが難しかった、子どもや家族連れを対象に積極的に働きかけていきます。</p> <p>(※1)キュレーターは展覧会のコンセプトを作り、作品選出、展示方法を決定します。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	イスラエル・ガルバン 「新作ダンス公演」	平成 31 年 2 月上旬 (予定)	<p>フラメンコ界のトップダンサーでもあるイスラエル・ガルバンとともに、新作ダンス作品を制作し、発表します。ガルバンは現代的な表現をおこないつつも、伝統的なフラメンコのテクニックを縦横無尽に駆使する作風で定評があります。コンテンポラリーダンスに比べ、幅広い層に支持されているフラメンコを起点とすることで、多くの市民に鑑賞してもらえる作品を企画します。</p> <p>平成 30 年度は日本とスペインの国交樹立 150 周年記念の年にあたります。</p> <p>記念の年にあたり、山口市ではスペインの経済、大学関係者を招いた二国間シンポジウムが開催される予定であり、本事業により、文化芸術の活発な交流が期待できます。</p>
	社会見学「HELLO YCAM」	通年	<p>学校向けに実施している社会見学ツアーを一般市民向けの新規プログラムとして開発・実施します。</p> <p>具体的には、過去に山口情報芸術センターが開発した研究開発の成果物の体験を通じて、テクノロジーへの理解向上を目指す体験型ツアープログラムを実施します。</p>
	未来の山口の授業	6 月中旬～平成 31 年 1 月中旬	<p>山口情報芸術センターでは、音や触覚、インターネット検索システムといった、広義に捉えたメディアの根源的な性質をテーマにしたワークショップ(体験学習)を多数開発しています。</p> <p>これらのワークショップを通して、人と「社会」「身体」「メディア・テクノロジー」との関わり方をテーマに、単なるメディア・リテラシーの向上や知識の強化だけではなく、普段の生活に新たな視点をもたらし、それまででない価値観を通して物事を捉える「想像力/創造力」の向上にもつなげていきます。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	展示：「ストリートカルチャー(仮)」	12月15日(土)～平成31年3月3日(日)	<p>さまざまな領域の専門家、地域の郷土愛好者、学生とともに、山口市の地域探索を行い、都市固有の文化(ストリートカルチャー)として、都市構想を含めたアートセンターの新しい形に反映させていく試みです。アーティストや建築家とともに、都市計画・建築プラン・アート作品の形態で提案していく展示企画であり、地域探索の調査成果を市内のツアーガイドを通して、広く来館者に体験してもらいます。その過程において、地域住民にとって、山口という地域の個性として、文化的理解と再評価を改めて促すことでシビックプライドの形成にもつながります。</p>
	YCAM InterLab バイオリサーチプロジェクト2018	平成31年3月上旬	<p>バイオテクノロジーは、医療や食料品など、多くの側面で一般の人々の生活に関与してきています。この流れを受け、山口情報芸術センターでは人々に必要とされるこれからのリテラシーについて考察をし、教育プログラム、芸術作品への応用を研究するため、バイオリサーチ設備を導入しました。これまでに培ってきている他の技術との融合も積極的に視野に入れながら、取り組みます。</p> <p>事業内容</p> <p>市内外からバイオテクノロジーの活用に関心のある参加者を集めて、DNA 解析技術を用いた生物図鑑制作、食や生命倫理についての意見交換を含む、ワークショップを行います。また、リサーチの成果やプロセス、知見を広く来館者と共有するための展示を行い、「アートの視点」から生命や倫理観、テクノロジーの応用可能性を探求します。</p> <p>また、山口大学や山口高校、山口県セミナーパークなどの近隣施設をはじめとしたすでに交流のある国内外の施設との連携強化や、イベントやメディアでの積極的な成果発表を行います。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	地域独自の創造性を発信する、地域開発ラボ事業	通年	<p>山口情報芸術センターが開館以来培ってきたメディア・テクノロジーに関する技術やデザイン力を地域社会へ還元することで、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組みます。</p> <p>事業内容 バンブーバイクプロジェクトや「食」の分野と結びつけたイベントの実施など、これまで山口情報芸術センターで行ってきたプロジェクトは山口市の市民生活の中へ広がりはじめています。それらのプロジェクトをより拡大し、精度をあげるため、起業や NPO、事業として展開していく人材と連携し、山口市における活性のための中核要素となる仕組みをつくります。</p>
	パフォーミングアーツ 招聘公演「ダンス作品」	11月中旬	<p>山口情報芸術センターで過去に上演、もしくは制作経験のあるアーティストに関連した作品を招聘し、作品同士の関連から文脈(ストーリー)をつくりだし、市民の方に足を運んでもらうことを目的とします。</p> <p>作品の選定にあたり、他の企画とのバランスを考え、観客対象者を20~30代と設定し、この観客層が興味を持つ、劇場以外の文化(ストリートダンスなど)を取り込んだ作品を軸とします。</p>
	sound tectonics#21 sound tectonics#22	8月中旬(予定) 12月中旬(予定)	<p>「sound tectonics」は、山口情報芸術センターの音楽イベントシリーズとして開催し、国内外で活躍する演奏家を山口に招き、他の施設では実現できない音響設備を提供することで、独自のプログラムを実現し、これまで地方都市では触れる機会の少なかった音楽ジャンルの紹介に加え、これらの領域の技術スタッフの人材育成の機会を提供しています。</p> <p>特に、音楽イベントシリーズ化することによって固定的なファン層を獲得するとともに、10代、20代の来館者の増加につなげる内容、アーティストの選定を行っています。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	学校連携事業「スポーツハッカソン for Kids」	通年	<p>平成 28 年度から 3 カ年計画で進めている当企画は、山口情報芸術センターの教育コンテンツの存在や教育における効果などが、市内の小中学校に広く十分に周知され、山口市の教育資源としての活用が促進されることを目標に進めています。</p> <p>「スポーツハッカソン for Kids」は、児童に馴染みのある「スポーツ」という活動の中でメディア・テクノロジーとのふれあいを創出するプログラムです。</p> <p>対 象: 小学校3学年以上 人 数: 最大 70 名まで 年間実施校数: 最大3校</p>
	YCAM スポーツリサーチ・プロジェクト「スポーツを作る」(仮)	通年	<p>テクノロジーとアートを通じた創造活動のゴールを「スポーツ」と位置づけ、山口情報芸術センターがある山口だからこそ生まれる新しい「スポーツ」の形を追求します。</p> <p>具体的にはこれまでに山口情報芸術センターで開発したオリジナルのツールを用いて、ゲストアーティストとともに新たなスポーツを形作っていきます。</p>
	YCAM シネマ	通年 毎週金、土、日曜日	<p>映画を映像表現、映像芸術の視点から、巨匠から新人作家、アニメーションからドキュメンタリーまで幅広いジャンルの新旧の優れた作品を上映し紹介します。新たな観客の発掘を兼ねた、集客の見込める作品も年に数本上映し、映画愛好家だけでなく、様々な年齢層やニーズに向けた作品を上映することで新たな観客の発掘につなげていきます。</p> <p>また、ゲスト招聘も含んだ特集上映を開催し、それらの作品に関わった作家やスタッフ、出演者、研究者が出演するゲストトークも適宜開催し、観客の作品に対する、より深い理解を促します。</p>

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	YCAM Film Factory vol.4 三宅唱監督＋YCAM制作映画「あたらしいたね(仮)」配給及び「ワールドツアー」展示	【展示】4月21日(土)～5月27日(日)  【映画】8月10日(金)完成披露上映	今回は、映画監督・三宅唱氏を招聘し、山口情報芸術センターとの共同映画制作を行います。三宅唱氏には、これまでの多彩な映像制作活動によって培った経験によって、山口情報芸術センターへインスピレーションを与えることが期待されています。また、地元山口で撮影制作する映画を通じて、新たな映画層の発掘と地域資源の開発・発信を行います。
	「YCAM 爆音映画祭2018」「真夏の夜の星空上映会」	【真夏の夜の星空上映会】8月10日(金)～12日(日)  【YCAM爆音映画祭2018(ライブ含む)】8月18日(土)～19日(日)、8月22日(水)～26日(日)	監修に樋口泰人(boid 主宰／映画批評)をむかえ、音楽ライブ用の音響セッティングを使い、大音響の中で映画を視聴する「爆音映画祭」を開催します。音と映像の関係について、メディア史の視点から映画を捉える山口情報芸術センターならではの映画上映イベントです。 また、夏の恒例行事「真夏の夜の星空上映会」は、すっかり涼しくなった夕暮れ時にお友達、ご家族と共に芝生でゆったりと映画を楽しむことができるイベントです。いつもとは異なる環境で映画を上映することで、日ごろ山口情報芸術センターに来られない家族層へのPRや新しい鑑賞方法の提案の場にもします。 今回は、8/10に、YCAM Film Factory vol.4にて制作した「あたらしいたね(仮)」を上映します。
	GRP Seeds (YCAM 滞在研究事業)	通年	国内外の研究者を山口情報芸術センターに招聘し、現在までの数々の実践を基盤とした共同研究を行います。具体的な研究の例としては、地域に潜るアジア、千年村プロジェクトなど地域連携事業に関する実地調査やインターラボにおけるモーションキャプチャシステム Motioner の改良版の開発などがあります。



区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	プロモーション事業	通年	<p>山口情報芸術センターの事業は、年々、多層化と多極化が進んでおり、多様な領域での成果が見込める反面、事業に対して理解を得るためのハードルが上がってきています。そのため情報発信には、そうしたリスクを回避しながら、事業のミッション達成を後押しするための工夫が求められています。</p> <p>具体的な取り組みとしては、事業のプロセスを一定のペースで可視化することや、主にマスメディアなど既存の外部メディアを活用した発信、ガイドブックの制作やポータルサイトを通じた発信など、多様なアプローチによる情報発信を積極的に進めることで当センターに対する理解度を高めていきます。</p> <p>また、海外に対する情報発信については、英語にとどまらず、東アジアの文化圏もみすえた多国語対応や、サイトとSNSなどの連携性を高める仕組みづくり等、積極的なプロモーションを進めることで、さらに発信力を強めていきます。</p>
	委嘱作品の修復・整理・保存	通年	<p>山口情報芸術センターが過去に発表した委嘱作品を修復・整理・保存します。具体的には山口情報芸術センターでの公開や巡回展示から一定以上の歳月が経過している作品をメンテナンスすることで、再展示を容易にするとともに、必要に応じてアーティストと調整して著作権などの法的な問題をクリアにしていきます。</p> <p>本事業は、文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業助成に申請し、助成金決定後に事業を実施します。</p>